

# 田上町

第75号

■平成20年1月25日 発行



# 議会だより



▲田上町消防団出初式

---

新年のあいさつ .....	2P
全員協議会・幼稚園建設特別委員会 .....	3P
12月定例会・請願・意見案・決議案 .....	4～5P
一般質問 .....	6～12P
常任委員会付託案件審査報告 .....	13P
常任委員会視察研修報告 .....	14P
常任委員会所管事務調査・一部事務組合報告 .....	15P
議員の活動あれこれ・編集後記 .....	16P

---

# 迎春



▲新春の役場庁舎からの眺め



## 新年のあいさつ

議長 小池 真一郎

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には健やかに平成20年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、町政をとりまく経済、社会の環境、特に少子高齢化、国際化、情報化、更には石油価格の高騰への対応など、町民生活の安定には行政が率先して取り組む課題は山積しています。

これらの状況下で町づくりを目指す上で、重要課題は財政再建であり、町の将来ビジョンを描いて参ることであります。

あわせて、懸案でありました幼稚園建設の件につきましても具体化する年になると考えます。

当町の議員定数は14名になり、影響が心配されましたが、議員の意識改革で活発な議論がなされ、更なる研鑽を重ね、皆様からの信頼とご期待にそえるよう努力を致したい思います。

## 新年あけましておめでとうございます

小野澤 健吉

吉田 昭一

児玉 輝男

坪谷 久雄

塚野 一二三

小池 真一郎

熊倉 良平

齋藤 勲

泉田 壽一

関根 一義

池井 豊

渡邊 正策

川口 與志郎

中野 和美

(議席順)

## 議員全員協議会

平成19年11月12日

### ◆財政フレームワークについて

〔内容〕

平成18年度一般会計歳入歳出決算をベースに平成19年度以降に見込まれる財政健全化計画、負担金・経費・事業・委託などの見直しを加味した平成19年度版財政フレームの説明。

### ◆町民説明会について

〔内容〕

田上町地域防災計画と竹の友幼稚園(仮称)建設計画。

### ◆安心・安全な町づくり

#### 条例(案)の制定について

〔内容〕

犯罪のない安心で安全な町づくりを基本理念に推進計画の説明。

### ◆人事行政の運営等の状況の公表に関する条例(案)の制定について

〔内容〕

平成16年に地方公務員法が改正され、地方公共団体の「人事行政の運営状況」を住民に公表することが責務とされた。(平成20年4月1日から施行予定)

### ◆指定管理者制度について

〔内容〕

指定管理者制度のメリット・デメリットの説明。  
以上を協議した。



▲町民説明会

## 幼稚園建設 特別委員会

平成19年10月2日

### 新発田市「西園すこやか園」視察



▲新発田市「西園すこやか園」園舎の視察

新発田市では、子育てに対するニーズが増大する中、子育てに関する保護者の負担感を軽減し、より高い保育サービスを提供

するため、教育や福祉という枠を超えて、幼児期の保育を二元的に行うことで、子育て支援機能の充実に努めることを目指し、3園を1つの総合施設にし、平成19年4月1日開園した。

「幼保三元化」・「園の特徴」について説明を受けた。

※道中「月潟保育園」「かたひがし保育園」の外観見学

平成19年10月9日

### 「竹の友幼稚園」(仮称)建設計画案の検討

現在の「竹の友幼稚園」の改修工事を含まない方向での計画の見直し検討。建設における経費計画、建設場所・開園までの流れを確認。

平成19年10月22日

### 設計着手のための建設場所仮決定

建設予定地を確定し、地盤調査から建設計画をスタートする事に同意。

**議員発議「二級河川才歩川・山田川河川改修事業の早期整備完成を求める決議」を可決**  
**田上町安全で安心なまちづくり条例の制定**



▲12月定例会本会議

**12月定例会の経過**

本定例会は、12月17日から21日の5日間開かれた。  
 初日、諸般の報告、人事案件上程、議案の上程に続いて3名の一般質問が行われた。  
 第2日目も4名の一般質問が引き続き行われた。  
 第3日目は総務産経常任委員会、第4日目は社会文教常任委員会が開催され、付託案件の審査が行なわれた。  
 最終日は各常任委員長の報告がなされ、議案の採決が行われた。

**初日 本会議**

会期の決定の後、各常任委員会報告・二部事務組合議会報告があった。  
 ○人事案件  
 人権擁護委員の推薦は原案どおり適任とした。  
 委員 高井 正巳氏  
 委員 齋藤 賢光氏  
 委員 金森 恵子氏

**最終日 本会議**

最終日の21日には議案の採決を行ない、請願2件が不採択になり、その他はすべて可決した。  
**〈提出された議案〉**  
 議第4号 指定金融機関の設置について  
 議第5号 田上町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について  
 議第6号 田上町安全で安心なまちづくり条例の制定について

議第7号 政治倫理の確立のため田上町長の資産等の公開に関する条例の一部改正について

議第8号 田上町情報公開条例の一部改正について

議第9号 田上町個人情報保護条例の一部改正について

議第10号 田上町下水道条例の一部改正について

議第11号 田上町下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について

議第12号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正について

議第13号 田上町職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正について

議第14号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

議第15号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

議第16号 平成19年度田上町一般会計補正予算(第4号)議



▲起立採決

定について

議第17号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第2号)議定について

議第18号 同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)議定について

議第19号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)議定について

議第20号 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第2号)議定について

議第21号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)議定について

議第22号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第2号)議定について

**議員発議による意見案**

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第7号	道路設備財源の制度堅持に関する意見書	塚野一三三 小野澤健吉 吉田昭一 児玉輝男 川口與志郎	原案可決	議長 長 議長 長 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 経済財政政策担当大臣

**請願**

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	議決結果
請願第6号	新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願	新潟市中央区西堀通3-799 カメラヤ206号 憲法を守る新潟県共同センター 代表 能登惣五郎 // 山崎 栄三	不採択
請願第7号	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願	新潟市中央区万代3-4-12 自労会館 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠	不採択

**議員発議による決議案**

決議案番号	件名	提出議員	議決結果
決議案第3号	一級河川才歩川・山田川河川改修事業の早期整備完成を求める決議	塚野一三三・小野澤健吉 吉田昭一・児玉輝男 川口與志郎	原案可決



池井豊 議員

住宅団地の建設やアパート建設は民間企業の問題だとは思いますが、少子化対策として、人口増加策として町として取り組む必要性を感じます。町長の見解を求めます。

また、少子化対策全般について町長の考え方を伺います。

### 羽生田川 水害対策 関連について

新潟市西蒲区にある矢垂川は、もともと普通河川で度々水害を巻き起こす川だったそう

町で事業を行うに当たっては、財政にどう影響するかということが一番のポイントになると思っております。より町にとつ



▲新潟市西蒲区の矢垂川

# 一般 質 問



渡邊正策 議員

### 陳情・要望には タイミングが大切

今回参議院選挙も終え、国会議員・国交省へ町長先頭に陳情してまいりました。今後もこうした陳情は田上町にとって必要。町長の陳情政治についての考え方は。

町長 国道403号バイパスの整備促進につきましての要望は、毎年私が直接予算編成時期に三条地域振興局、県、或いは北陸整備局、国交省にも要望書をその都度提出をしておりますが、国の回答は大変いい反応であります。残念ながら県の対応が必ずしも期待どおりになっておりません。この陳情政治にはいろんな事で批判があつたりして

### 少子化対策 について

幼児園構想も住民に説明され、建設に向けてスタートを切ったところですが、もう一方で忘れてはいけないのが少子化対策です。少子化問題はいくつもの複雑な要因がからみあつてのことと思えますが、住宅問題も一つの要因になっていると思えます。

事故は未然に防ぐもの。安心して通れる通学路・歩道の緊急整備を。

### 田上駅脇農面 道路に緊急 歩道設置を

りますが、現実には要望についてお分かりのように、国交省付近は大半が各県から出てきた陳情の人達の団体がひしめいておりません。そういった事で当面はやはり陳情する必要があります。私も今、県の道路協会の役員をしておりまして、与党だけでなく民主党にも地方の道路整備は必要であると訴え、お願いしてきたところでもあります。

町長 地区からも緊急整備として、国道403号の中店交差点か



▲歩道設置要望が出されている交差点

らJR横山踏切までの歩道整備要望が出されております。町では横山川のところに歩道設置という事で考えており、平成20年度事業で十分検討させてもらいたいと思っております。踏切幅は今までの経過からしても、経費的な面も含め、現状では大変困難であると思っております。

### 田上駅西側に 改札口設置を

町の繁栄・観光振興事業の発展は集客PRから、利用者により良い駅周辺の整備を。

以前JRと協議した結果、利用頻度などからJRは現在設置する考えはなく、設置するにしたら町が経費を負担して実施することになります。進入路の確保とホームの改築、それに駐車スペースの確保なども含めると相当な経費が見込まれるため、断念した経過があります。現在もその状況には変わりないわけでありまして、今後も機会を見て要望してまいりたいと思っております。観光の表玄関としての田上駅は重要でありますので、関係者と今後十分に話あつて行きたいと思っております。

昭和56年に水害対策を行う為に準用河川指定され、平成元年から「ふるさとの川モデル事業」が着手され河川改修したそうです。また、上流部は平成3年に砂防河川の指定を受け、県の「ふるさと砂防モデル事業」で砂防公園として砂防ダムなどの工事がなされております。県と国のモデル事業を上手く利用し、水害対策を成し遂げ、その後ホテルの多く生息する川のまちづくりをすすめている事でも有名になりました。



齋藤 勲 議員

**町長** 来年度から町の全額負担を5回にします。またエコー検査は健診とセットになっており、町が実質的に負担をしています。

**問** 田上町は妊産婦の無料健診が2回です。しかし県内の大半の自治体は5回以上負担をしています。少子化対策の一環として田上町も5回以上に増やす考えはありませんか？  
また要綱では町負担のエコー調査は35才以上となっており、全年齢に適用できませんか？

**町長** 同意見であり、4月に区長や関係者に集まってもらい、対象者の理解を得て、7月までにリストアップする方針です。

**問** 町長は機会のある度に「防災の基本は災害弱者を守る」とにあると言われます。だとすれば「個人情報保護条例」第9条を弾力的に活用することを提案します。条例では、  
①本人の同意があるとき。  
②個人の生命、身体、財産の安全を守るため。と個人情報の開示の条件を記しています。

**問** 町長は「護摩堂山は宝の山だ」といわれます。しかし、自然は保護をしなければ荒廃します。主に3点の理由で「自然環境保全条例(仮称)」の制定を提案します。  
①最近では護摩堂山のゴミ拾いや登山道の修復、小学校では国蝶オムラサキを呼び戻す取り組みなど、住民の環境への関心が高まっています。  
②一方護摩堂山の登山道脇の町有地、民有地などへのゴミの不法投棄が絶えません。また登山道の草花がこれ以上盗られるのを防ぐ必要があります。  
③田上町は手頃なベッドタウンとして、また娯楽施設の建設や土砂の採掘など主に山側を切



▲田上小学校のバタフライ&ガーデン

**町長** 護摩堂山一帯は水源の涵養、災害防止など重要な財産です。しかし、地権者が100名以上もおることから私権を制限することができるとか、難しい課題があります。今後の研究材料にさせて下さい。  
護摩堂山のゴミは撤去し、今後そのようなことがないよう対応します。

り開いて対応してきました。その結果水害発生要因にもなっているものと思います。今後は開発から保護へ力を注ぐべきではないでしょうか？

### 妊産婦の無料健診の回数の増加を

### 災害弱者の情報の開示は？

### 自然環境保全条例の制定を

# 一般質問



川口 與志郎 議員

### 全国学力・学習状況調査の結果と来年度の対応について

**問** 全国学力・学習調査について田上町は、来年は不参加にしてはどうか？

去年10月全国学力・学習調査の結果が発表され、都道府県単位で平均点が公表されました。新潟県は全国平均より少しよく、最下位は沖縄県でした。沖縄県は、かなりのショックを受け、既に来年の対策の検討をしていることが報道されています。  
このテストの結果が都道府県や市町村の序列を生み、平均点などにより競争を増幅します。また、地域や学校間の格差を生

みます。これは劣等感、優越感といった本質とは関係のない、教育的にはマイナスの要素を生みます。

文部科学省自身が、データの公表による過度な競争が起ることを心配しており、公表には慎重な扱いを求めています。田上はどうするのか伺います。

**教育長** 全国学力・学習状況調査がいたずらに都道府県や市町村間あるいは学校間の序列化につながったりという事態は避けなければなりません。そういう事態を避けるという前提のもとで調査には参加していきたいと考えております。

教育現場の主体性を損なわないようにしつつ、子ども一人ひとりを伸ばす教育方法改善のための資料になり続けてという前提のもとで、全国学力・学習調査そのものを否定するつもりはありません。



### 田上町の農業を守る政策について

**問** 田上の農業を守ってほしいということ。

田上町の農業を発展させるために出来ることは何でもやってほしいと思います。10年後、20年後の食糧危機を迎えた時点では間に合いません。そのことは十分考えられますし今から対策を立てて頂きたいと考えます。

地球が温暖化し異常気象を引き起こしている対策は、各国で検討されていますが、思うように進んでいないのが実態です。世界的な食糧難が今後起る可能性があります。日本の食糧自給率は39パーセントであり、先進国ではこんな国はありません。

ません。

政府の農業政策は「構造改革」「貿易の自由化」でありその政策が今の農業の危機を生み出しています。田上町は手を拱いてはいけないと思います。田上は農村部であり農業を守る義務があります。

国は軍事費に5兆円もの税金を使っています。食糧の安全保障のために、国民を飢えから守るためにもっと多くの税金を投入してもいいのではないのでしょうか。伺います。

**町長** 現在、町は単独で2千360万円の補助金を出しておりあります。新規就農者の施設整備への助成を行うとともに地産地消の取り組みにも力を入れております。

財政難の町にとりましては、いろいろ困難もありますが、今後、農家がどのような支援を望んでいるかの意見を聞く機会を設けるなど、農業の振興につとめてまいります。



小野澤健吉 議員

**問** 12月1日付けの日報で報道されたが、生活保護者の受給額が勤労者の最低所得額より高いので引き下げの報告を審議会より受け、厚労大臣は引き下げの方向を示した事であるが、

○厚労省が定める最低生活の基準とはどんなものなのか。

○田上町の生活保護の実態はどうなのか。8種類に分類できると言うが、各項の別はどうか。

○申請を断った事はあるかを伺う。

### 生活保護について

**町長** 生活保護については県及び市の福祉事務所にて保護を決定しております。当町では県への進達及び生活保護該当者の初期段階での相談に対応しているのが現実であります。

当町の実態は、12月1日現在の該当者は在宅者で11世帯12名、施設入所者で5世帯5名、長期入所者が2世帯2名であります。

国で定める最低生活費は6区分で、全国各自治体を国の方でランクづけをしています。格差の一例としては、50歳の方でひとり暮らしの場合、生活扶助費では1級地の1が一番高いランクで8万1千610円です。当町は一番低いランクの3級地の2で、6万3千250円となっております。地域により格差も生じております。

保護の種類は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助の8項目で構成されており、各項は在宅者の11世帯の



関根一義 議員

### 幼稚園建設がおよぼす行財政運営への影響は

**問** 財政健全化計画の実施過程で幼稚園建設が「財政健全化以後の新たな事業計画」として盛り込まれることとなった。一方総務省は財政健全化法にもとづき地方自治体の財政健全化判断指標を定め、財政状況の把握をより多様化し、厳格化しようとしている。

幼稚園建設が及ぼす行財政運営への影響をどのように認識しているか。

**町長** 建設経費6億1千863万4千円の75%の4億6千390万円を起債する。借入れ元金の返済がはじまる平成25年度の実質



▲竹の友幼稚園運動会

公債比率を14%程度と予想していることから、基準となる18%は超えない見込みである。

尚、起債の年間償還額として2千900万円程度の経費が必要となる。

**問** 「財政健全化計画は順調に推移している」との評価であるが依然として財政は硬直化している。過去3年間をどのように検証しているのか。

**町長** 財政健全化の実施状況を踏まえ、想定される新規事業も見込み見直しを行い、5、6年先の町の財政状況を予測した財政フレームを示しているものである。

### 平成20年度予算は「町づくり」編成を

**問** 「頑張る地方応援プログラム」の実践に対し特別交付税が3千万円相当額交付される。町では、5つのプロジェクトが個別事業計画のもとに活動を展開している。この活動が自主的に、主体的に展開されるならば町の活性化に大きく貢献する。特別交付税を予算編成にどう活かすのか。

**町長** 20年度当初予算編成においては、もともと一般財源である地方交付税で措置されたものであることから、頑張る地方応援プログラムの特別交付税関連の財源の充当は行わず作業している。

無論、「プログラム事業」の必要経費は町の財政計画の中で

うち、生活扶助が11世帯、住宅扶助が9世帯給付を受けております。ほかに該当したときは医療扶助、介護扶助が給付される場合があります。

相談件数は、19年度は5件の相談があり、2件は交付決定いたし、他の3件は制度内容を説明するものの保護申請までには至りませんでした。

取り組んでいく。

**問** 予算編成の枠配分方式を経費削減のみの手段にしているか疑問である。

配分対象単位と効果を検証し、枠配分のあり方の再構築が必要でないか。

**町長** 枠配分対象は、施設の管理運営や各課の固定業務等の経費としてきたが、平成20年度予算編成に取入れない。

**問** 予算編成に向け、地域要望ヒアリングはどのような位置づけで実施しているのか。また請願の採択案件が未着手のまま放置されている現状をどう見ているのか。

**町長** 地区要望を把握し、町民生活に支障が起らないよう実施している。予算編成においては、緊急性、必要性、継続性などを考慮し優先順位を決め予算付けを行う。

法的には請願採択に拘束されないが、議会の最高意思決定と理解している。

**問** 働きたくても働けない健康状態にあり生活保護を受けている。その人達は最低限ぎりぎりの生活ではないかと思うが、厚労大臣は給付を引き下げ発言となっており、引き下げにならない町の対応をお願いしたい。

**町長** 内容は非常に厳しいものになっていきます。貯金があればそれをみんな使いなさい。兄弟とか親族がいる場合はそれらを頼りなさいという大変冷たい施策となっておりますので、大変心配をしております。

生活保護は国の制度であり、町では現状のところ特別の予算の対応はしておりません。



▲竹の友幼稚園おたのしみ会



中野和美 議員

# 一般質問

## 少子化問題について

問 「田上町乳児子供の医療費助成に関する条例」が昭和53年3月に施行されていますが、妊婦健診を独自の子育て支援につけ加えることに尽力をいただきたいと考えます。

答 昨今問題になっている産気づいた妊婦のたらい回しは、この妊婦健診を受けていないところから発生しています。

9月の一般質問でもお伝え致しましたが、舛添厚生労働大臣が既に妊婦健診10回分助成の検討を始めています。国や県に先駆けて施行した場合、田上町の前向きな姿勢を全国にアピールできます。新しく幼児園も建設され、子供を産み育てるなら田上という可能性も

あります。

町長の少子化対策の考えをお聞かせください。

町長 今後条例制定の必要性をはじめと致しまして、或いは盛り込む内容をどうするかといった事について調査研究をして参りたいと考えております。

## 入札の総合評価制度導入について

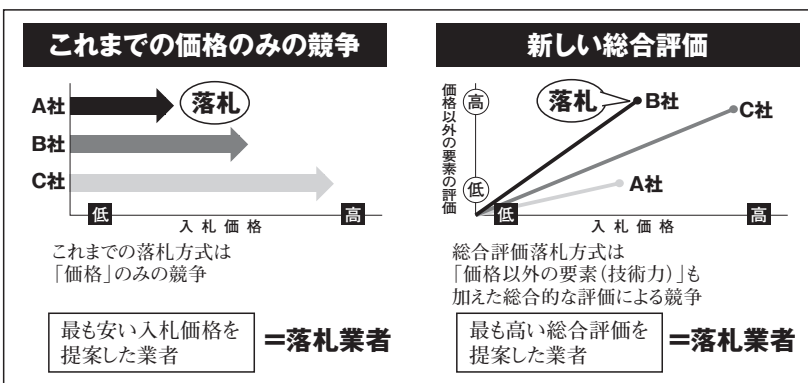
問 この度の幼児園建設は、田上町にとり大事業となります。

総合評価制度の良い面を取り入れ、技術やノウハウといった価格以外の要素を含め、建設後のメンテナンス、建物を長持ちさせるためのノウハウ、田上町のコンセプトが組み込まれ、住民が誇れるものにしていく事

が私たち携わる者の責務であると考えます。

田上町でも幼児園建設計画が進む中で総合評価制度をどのように取り入れていく考えであるかお聞かせください。

町長 総合評価方式による入札については、地元企業との協議も必要と思われまいますので、ましばらく研究してまいります。



## 災害発生時における携帯メールの必要性

問 災害発生時のライフライン、連絡網となり得る携帯メールの必要性を町長も前向きに検討されていらっしゃいます。アンケートも配布された事ですし、今後どのようなステップを踏んでいかれますのか、お聞かせ下さい。

町長 配信サービスは様々な活用方法が設定されますが、今後の導入や活用についてはアンケートの結果や他市町村の事例を参考にいたしまして総合的に判断してまいります。



総務産経

〈12月19日〉

条例の制定

- ◆ 田上町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- ◆ 田上町安全で安心なまちづくり条例

条例の一部改正

- ◆ 政治倫理の確立のため田上町長の資産等の公開に関する条例
- ◆ 田上町情報公開条例
- ◆ 田上町個人情報保護条例
- ◆ 田上町下水道条例
- ◆ 田上町下水道事業受益者負担に関する条例
- ◆ 田上町職員の給与に関する条例
- ◆ 田上町職員の勤務時間、休暇に関する条例
- ◆ 田上町職員の育児休業等に関する条例

- ◆ 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例

補正予算

- ◆ 平成19年度田上町一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出それぞれ795万6千円を追加するもの

- ◆ 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第2号)

- ◆ 同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

- ◆ 同年度田上町水道事業会計補正予算(第2号)

以上原案可決

請願

- ◆ 新テロ特措法案を撤回し、アマガニスタンへの民生支援の強化を求める請願

不採択と決定

社会文教

〈12月20日〉

- ◆ 20年2月9日に契約期間が満了となるため、協栄信用組合に取り扱わせるものとする。

補正予算

- ◆ 平成19年度田上町一般会計補正予算(第4号)  
人事院勧告による給料、手当の増額分が主な補正であり、ほかには確定申告に要するパソコンの購入、徴税費の時間外手当、両小学校の修繕費、管理費等である。

- ◆ 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
943万2千円を追加し総額を12億5千564万1千円とするもので、歳入では税の調定額、療養給付費等の増であり、歳出では制度の変更による準備、医療費の増が主なもの。

- ◆ 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第2号)  
1千292万9千円を追加し、総額を11億8千653万円とするもので、医療費支給費(補装具等)が不足するため。

- ◆ 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)  
116万9千円を追加し、総額を4千259万6千円とするもので、件数増が主なもの。

以上原案可決

請願

- ◆ 後期高齢者医療制度の中止撤回を求める請願

不採択と決定



▲社会文教常任委員会

常任委員会視察研修報告

総務産経

期日 10月10日～11日

視察地及び研修内容

群馬県JA前橋市荒砥支所



▲JA前橋市荒砥支所で説明を受ける

○農地・水・環境保全対策の取り組みについて  
事業を取り組むために群馬県中部農業振興課、前橋市、JA前橋市の指導を受け、連携して東大室町環境保全向上会(イースト・エコクラブ)を運営、推進している。

最大の特徴は環境保全対策として減農薬、減化学肥料(農林省特別栽培農産物表示ガイドライン)に基づき使用量50%以下にした特裁米の栽培面積を拡大している。この特裁米に対して前橋市独自で1俵1千円の補助金とともに市内学校給食で全量消費を図っている。

育成会、PTAと連携を強化し、スクールバス到着後、自宅まで子供たちを送りながら、ゴミや空き缶を拾い環境の美化に努めている。

なお、JA前橋市の農業生産額は年額で300億円、ハウス胡瓜で18億円とのこと。

委員長 泉田 壽二

社会文教

期日 11月5日～6日

視察地及び研修内容

○十日町市立「中里なかよし保育園」(5日)

少子化の影響はどことも同じ幼児の数が少なくなり、平成10年頃から準備に入り検討委員会を10回も開き、実施計画、住民説明、用地買収も順調に進んだ。全保育所を統合し、遠い所から5歳児まで178名が通園している。正職員12名、臨時職員13名、バス運行と給食は委託している。

○群馬県明和町立「明和こども園」(6日)

県の南部に位置し都市部に近い関係もありIT産業の部品工場等があり、財政的には安定した町。

平成12年に幼稚園と保育所を統合。全国でも珍しい

合築園舎を整備し、教育・保育ができる「認定こども園」とした。



▲認定こども園の前で

常任委員会所管事務調査

総務産経

期日 11月22日

山田川・才歩川工事の現地調査

・三条振興局治水課長より各現場で説明を受けた。床上浸水対策特別緊急事業の最終年度は現場状況の変化等で1年延長して平成20年度が予算の最終年度となる。計画予算の残、7億円と不足が見込まれる6億4千万円を確保して工事を完成したいが、工期的には21年度末までは必要なので関係者の理解を得て推進したいとの意向。

この事業を円滑に推進するために12月定例会で議会議決をして、議会と町が一体となり予算要望活動を起こす必要があると、全会一致で認識した。

○新条例(案)について

・田上町人事行政の運営等の

状況の公表に関する条例

・田上町安全で安心なまちづくり条例

○平成19年度生産調整の実施結果について

・平成19年度作付超過面積は19.55ha(減反面積不足分)  
・平成20年度の需要調整は4%減少する見込。  
・これに伴い町の転作面積が24ha増となる見込である。

社会文教

期日 12月4日

教育委員会関係の羽生田小学校体育館修繕工事箇所を調査。昨年のアスベスト撤去工事の際、体育館に教室を作ったために床面に傷がつき塗装をやり直したものを。

中学校校舎の雨漏り防水工事の現場を確認調査した。心起園の修繕については、大改修はせずにシロアリの駆除対策、畳の入れ替え等にとどめるとの説明。

一部事務組合報告

新潟県後期高齢者医療広域連合議会

期日 平成19年10月24日  
場所 三条市役所

11月臨時会

広域連合18年度一般会計決算認定については報告、説明のとおり認定する事と決定。  
以下議第36号から41号までの6議案は条例の廃止及び一部改正の字句の訂正等で説明どおり可決をする。

議第42号及び第43号は、平成20年4月からの後期高齢者制度の施行に伴い、広域連合が行う事務を定めるものと広域連合広域計画を策定するもので各市町村から様々な質疑、意見が出された。  
①保険料の減免について②資格証の取り扱いについて③広報パンフレット等について医療制度の事が詳しく載っていない④負担金が公平でない等

採決の結果、可決。

請願については賛成少数で否決。発議案第4号は後期高齢者医療制度の円滑な施行に関する意見書については、賛成多数で採択と決定。

連合議員 吉田 昭一

三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合議会

期日 平成19年11月22日  
場所 三条市役所

11月定例会

○平成18年度一般会計決算認定  
歳入 2億6千54万6千円  
歳出 2億4千85万4千円  
収支残額 1千96万2千円

新潟県中越福祉事務組合議会

期日 平成19年10月24日  
場所 まごころ学園

10月定例会

○平成18年度一般会計決算認定  
歳入 4億2千560万7千円  
歳出 4億1千153万2千円  
収支残額 1千407万5千円

組合議員 川口 與志郎

# 議員の活動あれこれ

いろいろなところでガンバッテいます



## 田上中学校創立60周年記念式典

9月30日に行われた式典に来賓として参加、60年の歴史を在校生と共に振り返る。



## 常任委員会視察研修

総務産経は10月10・11日、燕市大河津分水可動堰と群馬県前橋市JA前橋へ。社会文教は11月5・6日、十日町市「中里なかよし保育園」と群馬県「明和こども園」へ。

## 竹の友幼稚園おたのしみ会

12月8日に行われたおたのしみ会に来賓として参加、園児の名演技に目を細める。



## 要望書提出

12月19日に三条地域振興局へ、26日に県庁へ「一級河川才歩川・山田川河川改修事業の早期完成を求める要望書」を提出した。

## 12月議会こぼれ話

12月議会に提出された「新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願」の採択をめぐり、最終日に9名もの議員が討論に参加する出来事がありました。一つの案件に多くても6名くらいが討論に参加しますが、今回の場合は9名もの議員が討論に加わりました。一つの案件に多くても6名くらいが討論に参加しますが、今回の場合は9名もの議員が討論に加わりました。一つの案件に多くても6名くらいが討論に参加しますが、今回の場合は9名もの議員が討論に加わりました。



## 田上町出初式

1月6日に行われた田上町出初式に小池議長が来賓出席し挨拶をした。

## 元旦出初式

元旦に行われた第8分団の出初式に羽生田地区の議員が来賓出席し、共に安全祈願祭も行った。



## 編集後記

新年の朝は、我が町のシンボル「護摩堂山」も燦爛と輝き「今年の田上町発展・繁栄を力強く見守っているぞ」と言っているように思えた。

昨年の最大の話題は「こ暫くできなかった起案が、『幼児園建設構想』で提案された事だ」と思う。その事を基に各議員からの一般質問でも闊達な議論がなされたのが田上町の少子化対策だ。県の統計によると、合併後の新潟県35市町村の中で合計特殊出生率、第一位が川口町と津南町の1.75で同率、県平均では1.34だ。田上町は1.08で第34位である。この数値は世界最低の出生率だそう。

こんな状態から早く抜け出せる環境づくりに、みんなが知恵を出し合い田上町の発展につくそうではないかと思っ

- (渡邊 記)
- 委員長 池井 豊
  - 副委員長 渡邊 正策
  - 委員 吉田 昭一
  - 委員 泉田 壽一
  - 委員 川口興志郎
  - 委員 中野 和美

## お知らせ

議会を傍聴してみませんか。第1回定例会は、3月6日から予定です。

(常任委員会も傍聴できます。)